

JBL4350A の再構成(3)
—ダブルウーファー駆動アンプの交換(2)—

1. 始めに

前報(1)において、片チャンネルが不調になったダブルウーファー駆動アンプの Heath Kit の W6M (KT88pp) から W5M (KT66pp) に取り換えました。今回、W6M を修理してもらう機会がありましたので、元に戻してみます。

2. JBL4350A の試聴方法

JBL4350A の駆動アンプを元に戻した結果、駆動アンプの構成はダブルウーファーが Heath Kit の W6M (KT88pp)、ミッドバスからツイーターまでが特注の RCA 45pp アンプ、スーパーツイーターが PILOTONE の 6V6pp アンプです。

その後の再生ルートの変更があつて、JBL4350A のアナログ再生ルートは、下記のように設定しています。

LP-12→(フォノケーブル)→BACU-2000→Model120(バランス入力端子→バランス出力端子)→(アンバランスケーブル)→AACU-1000→Brooklyn DAC+(アンバランス入力端子→アンバランス出力端子) →AACU-1000→アキュフェーズ F-15 チャンネルデバイダー→マルチアンプ駆動系

最近の JBL4350A の試聴は下記で報告しています。

[ヴォリュームアキュライザーの活用\(10\)](#)

[ヴォリュームアキュライザーの模造品\(5\)](#)

ヴォリュームアキュライザーの活用(10)のようにヴォリュームアキュライザーを適用したいところですが、他のところに使用していますので、模造品の適用の状態で試聴し、音源はヴォリュームアキュライザーの活用(10)で試聴した次の音源です。

Deutsche Grammophon 483-6927/6928/6929

J.S.Bach Sonatas & Partitas

Nathan Milstein

ドイツグラモフォン MG9551

ベートーヴェン 三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ)

ゲザ・アンダ (ピアノ)

LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)

リヒャルト・ワーグナー ワルキューレ全曲

ゲオルグ・ショルティ指揮ウイーンフィル

Angel (東芝 EMI) AA 9117・C

ゲオルグ・フードリッヒ・ヘンデル
オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア
キングレコード SKA-104
愛と自然の歌
倍賞千恵子

3. JBL4350A の試聴結果

ウーファー駆動アンプを入れ替えた上記設定で聴き始めましたが、ウーファーの片チャンネルの音がでません。いろいろやってみましたが、どうやらアンプの問題らしいということで、右チャンネルは W6M に交換し、左チャンネルは W5M に戻したところ、音が出るようになりました。

このような変則的なアンプ交換後、Sonatas & Partitas、選帝侯のソナタ、ワルキューレ、メサイア、倍賞千恵子をざっと聴いて行きましたが、さほど違和感はなく、右チャンネルを W6M に交換した効果で低音がぐっと張り出しています。

しかしながら、よく聴いていきますと、右チャンネルの W6M のゲインが高く低音のバランスが崩れていることが分りましたので、チャンネルデバイダーのレベル合わせを行い、右チャンネルの低音のレベルを下げました。

この状態でのテストは、LINN LP-12 を電源改造のためにショップに預けましたので、TohrensTD124 のシステムで聴いていくことにしました。TohrensTD124 の再生系は、[TohrensTD124 の導入\(10\)](#)で報告したとおりです。

TohrensTD124 の再生での Sonatas & Partitas は、艶もあり、切れ味の良いボーイングが聴けます。

選帝侯のソナタは、適度にまろやかで適度に打鍵の力強さもあり、左右の低音のアンプの違いも特に気になりません。

ワルキューレは、押出もよく、右チャンネルのアンプを W6M にしたことにより、右チャンネルの低弦の力強さが違ってきました。

メサイアは、オーケストラや合唱の分離はやや難があるものの、ソプラノやバスの歌唱は力強く、通奏低音も明瞭です。

倍賞千恵子は、伸び伸びとした歌唱で、バックの伴奏は音が弾みます。

なお、使用しなかった W6M アンプは、別系統で音出しのテストをしましたが、電源は入っているものの、やはり音がでませんでした。

4. まとめ

ダブルウーファー駆動用のアンプを交換しましたが、一方の W6M アンプの音がでなかったので変則的な状態になりました。この状態でも低音の力感が向上したことは分かりましたが、引き続き、片方の W6M アンプの不調の原因を突き止め、正常な状態

にしていきます。

以上